市民連合議員団

未来をつくる
～学び・育ち・暮らしの充実～

久保　隆　　小森　禎之　　遠矢家永子
※森本　信之　　吉尾　卓也　　吉田　錦司
※は発言者

公園整備事業
インクルーシブの視点を

議員　２０２３年度にオープンしたアクトレや、現在計画中の（仮称）地域共生ステーションにインクルーシブ遊具を設置するなど、障がいの有無に関わらず、子どもたちがともに集える居場所づくりが進められています。

　インクルーシブの視点は、本市のまちづくりにおいて重要と考えますが、今後の公園整備事業について、市の見解を伺います。

市長　公園は様々な目的で利用されており、近年はインクルーシブ公園の整備が全国的に広がっています。本市でもアクトレや芥川公園のリニューアルにおいて、インクルーシブの視点から整備を進めてきました。

　今後も利用実態の把握・検証に取り組むとともに、インクルーシブの視点を持ち、子どもの健全な育成を支え、新たな交流が生まれる公園整備に取り組みます。

▲芥川公園に設置されたインクルーシブ遊具

スポーツ施設等の夜間照明
市全域の状況と在り方は

議員　熱中症対策や防災の観点から、第二中学校の夜間照明の設置に向けた設計をするとのことです。地域からの要望もあり、実現に向けた取組を評価します。

　本市は、スポーツ施設や学校グラウンドへの夜間照明の設置を行っていますが、市全域の夜間照明の状況について伺います。

　また、東部地域では夜間照明がないように感じます。夜間照明の在り方についても見解を伺います。

市長　夜間照明設備は、スポーツ施設では堤運動広場や総合スポーツセンター内の青少年運動広場・テニスコート、学校では阿武山小学校、桃園小学校、寿栄小学校に設置しています。

　夜間照明はスポーツニーズへの対応や熱中症対策等に有効ですが、光や音等が日常生活に影響を及ぼすことから、地域住民の理解と協力が必要不可欠です。夜間照明設備の在り方については、検討課題の一つとして考えています。

樫田地域デマンド交通
具体的な内容は

議員　樫田地域のデマンド交通実証運行について、地域住民との意見交換の内容と、どのような要望があったのか伺います。

　また、地域住民の利用方法、料金、運行方法、九中や樫田小学校を利用する子どもたちへの影響や利用方法について伺います。

市長　令和５年度からデマンド交通の導入を提案し、電話またはアプリ等での予約が必要なことや、運賃は現行バスと同水準であること等を丁寧に説明し、意見交換を重ねました。通学に関する要望等を受け、現行ダイヤを基本としながらも、中学生の下校時間に配慮し、樫田小学校への通学児童のために大型バスの運行を一部継続するダイヤとするなど、協議を重ねた結果、地域から要請を受けて実証運行に至りました。引き続き丁寧に意見交換を行い、課題の検証等を行います。

小中学校給食
物価高騰等の影響は

議員　食糧費や人件費の高騰、米不足が続いていますが、１人当たりの給食費の予算額は昨年度と変わっていません。給食の質や量の低下はないですか。また、必要に応じて補正予算で対応する考えはありますか。

　また、昨年、牛乳パックのリサイクルについて視察を行い、有意義な事業と思いましたが、令和７年度の取組についてお伺いします。

市長　昨今の物価高騰は食材の購入価格に影響を及ぼしていますが、献立内容や調理工程等を工夫することで、質や栄養価を落とすことのないよう対応し、物価高騰が続く場合は、必要に応じて１食単価の見直しを検討します。

　牛乳パックのリサイクルは、障がい者就労施設と連携することで、実施校を４校から９校に拡大し、循環型社会の形成に向けた取組を推進していきます。